

ご あ い さ つ

県民歯科疾患実態調査は、「80歳で自分の歯を20本以上残しましょう」という『8020運動』を確実に推進していく上で、まずは県民の口腔内の健康状況を把握し、その実態を分析することによって、鳥取県民の各ライフステージに応じた歯科保健目標を設定することが重要であるとの観点から、平成7年に第1回目の調査が実施されました。これにより鳥取県では初めて県民の歯科疾患の実態把握を得ることとなり、具体的な歯科保健目標が設定されました。

目標に対して、その評価と更なる健康増進に向けた取り組みのためにも、この調査の継続が求められ、その後平成12年、平成17年、平成22年、平成28年と、5.6年毎に実施してきました。

第6回目となる今回は、本来令和3年度に実施される予定で7月まで調査を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむを得ず中断してしまいました。仕切り直して令和4年度では、感染対策をさらに講じたうえで慎重に調査を行い、市町村による健康事業参加者、各地区事業所勤務者、かかりつけ歯科医院に通院中の、20歳以上の成人を対象として、2,100名を超える皆様にご協力を得ることができ、心より感謝申し上げます。

今回の調査では、これまでのものからアンケート調査内容を一部変更し、より歯科疾患の調査とアンケート調査との関連性、ならびに総合判定の結果も反映させたものになりました。今後、新しい『歯と口腔の健康づくりとっとりプラン』での、目指す方向性や達成しようとする具体的目標の設定のために有意義な調査となりました。

今後、鳥取県歯科医師会としましても、県民の皆様の生活の質の向上、健康寿命の延伸に寄与するべく、口腔の健康の維持・増進、歯科保健目標の達成に向かって邁進してまいります。

これからも、関係各位のご理解、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 鳥取県歯科医師会
会 長 渡 部 隆 夫